

毎月１日発行
発行所　むらさき学園
発行者　橋本周現
住　所　〒617-0814
長岡京市今里 5－12－9
TEL（075）953 － 0505
・ホームページＵＲＬ
http://www.sepia.dti.ne.jp/~yoh-murasaki/
・Eメールアドレス
yoh-murasaki@jasper.dti.ne.jp

園長と語ろう

― 二学期の保育方針 ―

園長　家田　美里

今日から二学期が始まりました。一年の中で一番長い学期になります。今年度の子ども達はと言いますと、一学期は自分達の思いを存分に出すことができたのではないでしょうか!?保護者の皆さまには、ご心配をお掛けする事も多々あったと思います。それも我が子の成長の過程…と温かく見守ってくださった事が、どれ程子ども達にとって自信に繋がった事でしょう。一学期に頑張ってきた子ども達は夏休みの間に緊張から開放され、家庭生活で気持ちがリフレッシュされました。充電されパワーアップした子ども達と長い二学期の集団生活に入ります。二学期は行事が沢山あり、園外保育やクッキング活動と盛り沢山です。３歳児もフル参加になります。一学期に比べ自分の思いを友だちに伝えるようになり、私達は「なるほど」と頷ける時もあれば「それでいいの？」と思う場面にたくさん出合います。大人では理解ができない事もありますが、他の仲間が入りみんなで納得して遊びが続くと「口を出さなくてよかった」と思った事が何度もあります。又、一度は納得をして遊んでいましたが「何か違う」と思い、ブーイングをしなければ伝わらないという事に気付く時が必ず出てきます。どうすればいいのか試行錯誤が始まります。自分で知恵を絞り出し周りの仲間に理解をしてもらう為に考えます。それを乗り越えた時に大きく成長をします。私達は保護者の方と一緒にその姿を見守って応援していきたいです。そんな二学期もよろしくお願いいたします。

さて、９月になると園見学に来られる方が増えます。皆さんもいろいろ見学されてきたと思います。むらさきでは子ども達と遊びながら良いところや難しいところ(子どもが自分で考える)を説明しています。その際、うちには小さい営業部長がたくさんいます。砂場で見学の子が遊んでいたら、自然に「これ、つかってもいいよ」と言って一緒に遊んでくれます。その後も手を引いていろいろ園庭を紹介してくれています。幼い妹がついて来る事がとても嫌だった気持ちの狭い姉としては敬服いたします。

むらさきでは子どもが主体です。自分で考えて行動しなければ園生活は楽しめません。たまに思う時があります。自分の幼少期に今のむらさき幼稚園に通っていたら…と。幼稚園時代は思っている事をなかなか口に出せなかった私は、こんなに強く居られるのだろうか?こんなに逞しく成長できるのか?と。そう思えば思う程、今のむらさきっ子の強さに気づきます。このまま力強く成長してくれる事を願います。そして逞しいむらさきっ子が、来年も沢山集まってくれたら嬉しいな。

	月のねらい	解説
九月	歓喜踊躍（かんきょうやく） よろこびおどる境地あり。	遊びに集中すれば自ら喜びを得ます。子どもの遊びは生活そのものであり夢中で遊べる心はとらわれが全くないので「無心」と言われます。「無心」で生活する子どもはよろこびおどる境地そのもの、即ち自然なのです。
十月	自策自励（じさくじれい） 自分で考え自分で努力する。	子どもは感じて、思い、そして考えるという感性豊かになる事が自分自身への努力となっています。豊かな感情をより豊かに受けとめてくれる大人が側にいれば、より豊かにふくらみます。
十一月	発心修行（ほっしんしゅうぎょう） 個々に目標をみつけてそれに集中する。	自己課題を自分で見い出し、無心になる程熱中し、その中で競争相手であるライバルを見つけ、競い、学び合い、助け合う。評価は自分自身でなされる為、反省となり、次なる発心の指針となる。
十二月	脚下照顧（きゃっかしょうこ） 親子共々に静かに反省のとき。	子どもは親を、そして先生や大人を真似て成長します。 この社会に伝え残したい文化、守らねばならないルールを私達は日常生活にいかして生活しているでしょうか、真摯な態度で反省しましょう。